



平成29年度 福岡県商工部施策の概要

平成29年度当初予算がスタートしました。本誌では、福岡県商工部の平成29年度当初予算の概要を紹介します。

1. 本県経済を支える中小企業・小規模事業者の成長・発展

■中小企業振興資金融資費

(中小企業振興課)

県の資金を金融機関に預託し、金融機関の中小企業者に対する低利融資を促進することにより、中小企業者の資金繰り円滑化を図る。

予算額：1,076億7,921万円

融資枠：6,884億円

■地域中小企業経営支援費

(中小企業振興課、新事業支援課)

商工3団体を通じた金融・税務等の経営全般の支援を行うことにより、県内中小企業の振興を図る。

予算額：39億9,510万円

■地域商品券による地域経済活性化支援費

(中小企業振興課)

個人消費を喚起し、商店街をはじめ地域経済の活性化を図るため、商工会議所・商工会や商店街が行うプレミアム付き地域商品券の発行を支援。

予算額：4億5,927万円

■商店街活性化対策費

【一部新規】

(中小企業振興課)

商店街の施設整備や魅力ある店舗誘致等の取組みを支援することにより、身近な買い物の場、地域コミュニティとしての機能を高め、商店街の活性化を図ります。

予算額：2,128万円

■売れる新商品・新サービスづくり支援費

【新規】

(中小企業振興課)

中小企業の売れる新商品・新サービスづくりを促進するため、消費者ニーズを捉えた商品等の開発を支援する。

予算額：1,113万円

2. 本県経済を担う産業の育成・集積

■北部九州自動車産業アジア先進拠点推進費

【一部新規】

(新産業振興課)

部品比率が高まっている電子・電装分野への参入支援や開発人材の確保に取り組むとともに、FCV(燃料電池自動車)の普及を促進する。

予算額：2,312万円



■ バイオ・メディカル関連産業振興費

【一部新規】

(新産業振興課)

理化学研究所、地域の大学、病院等と連携し、県内企業が取り組む機能性表示食品や医薬品、医療・福祉機器等の開発を支援する。

予算額：1億4,851万円

■ IoT関連産業振興費

【一部新規】

(新産業振興課)

県内の企業や大学が有するものづくりやソフトウェアの技術を用いて、農業、医療福祉等の現場のニーズや課題に対応するIoT関連の製品・サービスを開発する。

※IoT(モノのインターネット)：様々な場所に設置された機器やセンサーからの情報を基に、AI(人工知能)なども活用し、新たな製品・サービスを生み出す技術

予算額：3,595万円

■ 水素エネルギー戦略推進費

【一部新規】

(新産業振興課)

九州大学が行う水素製造技術の研究開発を支援し、再生可能エネルギーからの水素製造の普及を目指す。

予算額：1,000万円

3. 域外からの集客拡大による地域経済の活性化

■ 観光資源開発費

【一部新規】

(観光政策課)

外国人及び富裕層を対象とした体験・交流型の観光資源を開発するとともに、伝統工芸の魅力を情報発信することにより、観光客の誘客と観光消費額の拡大を図る。

予算額：2,238万円

■ 外国人観光客受入環境整備費

【新規】

(観光振興課)

外国人観光客がストレスなく快適に県内を周遊できるよう、受入環境の整備を図る。

予算額：2,067万円

■ 観光プロモーション推進費

【一部新規】

(観光振興課)

県内の様々な観光資源を幅広く情報発信することにより、観光客の誘客、周遊を図る。

予算額：4,345万円

※本記事は、福岡県ホームページの「福岡県の当初予算(平成29年度)」から引用。